UNIT 2: APPLICATION
TEACHER NOTES

Unit 2: TI-Innovator™ Hubのforループ

タ音楽を生成する方法 目標

この応用では、ランダムなコンピュータ音楽を生成する方法を学びます。

• forループを使って音符の数を制御

Application: コンピュータ音楽

乱数ジェネレーターを使ってランダムな音符を作成

ユニット2では、forループを使って光、色、音を制御しました。この応用では、コンピュータで生成されたランダムなサウンドまたは音楽を再生するプログラムを作成します。この課題には、3つのアプローチがあります。

- a) 純粋にランダムなトーン(周波数)を再生する。
- b) 特別な周波数を使ってランダムな音を再生する。
- c) 音符(リストにある)を使ってランダムな音を再生する。

また、トーン/音符にランダムな持続時間(タイミング)を使います。そして、さらに花を添えるため、音符にカラー LEDを使って異なる色を点灯させることができます。

Teacher Tip: これがクラスプロジェクトである場合は、さまざまなアプローチを期待してください。学生への指示は、ランダムな周波数またはトーンになります。音符には特別な周波数と名前があります。より多くの音楽的効果については、最後の先生のヒントを参照してください。

1. 新規のPython Hub Projectを作成します。

乱数を生成する関数が必要になります。このツールは標準Pythonコマンドの一部ですが、Hub Projectテンプレートがインポートしない別のモジュールにあります。

menu > Random(メニュー>ランダム)を押して、次のステートメントを追加します。

from random import *

コード上部にあるインポートステートメントの集まりに追加します。

2. escを使ってプログラムを終了します。

menu > TI Hub > Commands(メニュー>TI Hub>コマンド)を押して、次のステートメントを選択します。

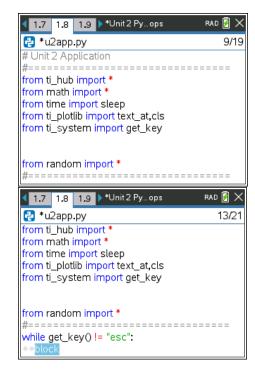
while get_key() != "esc":

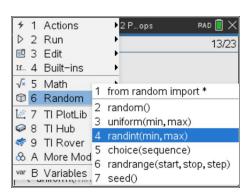
残りのステートメントは必ずインデント(字下げ)してください。 このプログラムを実行するときは、**esc**を押してプログラムを終了し ます。

3. menu > Random(メニュー>ランダム)にあるrandint()関数を使います。

r = randint(min, max)

変数rは、後で使うために整数の乱数を格納します。minとmaxは数字に置き換えられます。ただし、これらの数値を入力する前に、次の手順を考えてください。







10 Minutes of Code - Python

TI-NSPIRE™ CX II WITH THE TI-INNOVATOR™ HUB

UNIT 2: APPLICATION TEACHER NOTES

4. rは音の周波数を表します。すべての周波数が聞こえる訳ではありませ ん。非常に小さい周波数や非常に大きい周波数は、私たちの聴力範囲 外にあるため、避ける必要があります。

前のレッスンで音楽を操作するときは、数百の周波数を使ったことを 思い出してください。したがって、最小値と最大値を選択するとき は、それを念頭に置きます。

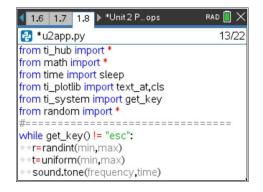
別の確率変数t(時間)を追加し、menu > Random > uniform(min, max)(メニュー>ランダム>一様(最小, 最大)にあるuniform() 乱数ジェ ネレーターを使います。これにより、最小値と最大値の間のランダム な10進数が返されるため、一部の音符は1秒の一部で再生されます。 ここでの最小値と最大値の選択は、各音符をどれだけ長く持続させる かによって異なります。

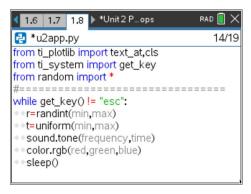
1.6 **1.7 1.8 ▶** *Unit 2 P... ops RAD 🔳 🗡 *u2app.py 13/23 from ti_hub import from math import * from time import sleep from ti_plotlib import text_at,cls from ti_system import get_key from random import * while get_key() != "esc": r=randint(min,max) *t=uniform(min,max)

Teacher Tip: rも一様である可能性があります。

5. つぎに, sound.tone()を使ってサウンドを作成し, プロンプトの frequency(周波数)とtime(時間)をそれぞれ変数rとtに置き換えます。

トーンの再生中にコンピュータを一時停止するには、sleep()関数を追 加することを忘れないでください。プログラムはどのくらい待機する 必要がありますか。



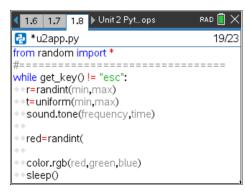


6. カラーLEDはどうでしょう。赤、緑、青の3つのカラーチャネルがあ り、値は0~255に制限されていることに注意します。各チャネルの randint(0,255)関数を使って、LEDを純粋にランダムな色で点灯させる ことができます。

red = randint(0,255)

または、周波数rまたは時間t. あるいはその両方に色を依存させるこ とができます。範囲外になることに注意してください。たとえば、 255を超える。

右図は完全なプログラムではありません。

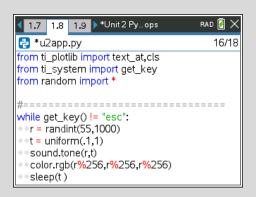


UNIT 2: APPLICATION
TEACHER NOTES

TI-NSPIRE™ CX II WITH THE TI-INNOVATOR™ HUB

Teacher Tip: 考えられる解決策

%(mod)を使うと、カラーチャネルに0~255の範囲の値が保証されます。



課題:音楽のランダムな音符はどうでしょう。

a) frequency(周波数)の使用:

N=randint(0,59)

Freq=55*2**(N/12)

sound.tone(Freq,time)

b) 音符名の使用:

音符名のリストを作成: NoteList=["c1","d1","e1"...]

R=randint(0,len(NoteList)-1)

sound.note(notelist[R], time)